平成22年5月17日

各 位

上場会社名　株式会社フェローテック
代表者　代表取締役社長 山村 章
（コード番号　6890）
問合せ先責任者　取締役 吉田 勝
（TEL　03-3281-8186）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年11月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	31,000	600	300	100	4.40
今回発表予想(B)	31,541	703	524	156	6.58
増減額(B-A)	541	103	224	56	
増減率(%)	1.7	17.1	74.6	56.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	36,653	2,790	2,097	743	34.39

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,000	50	620	600	26.41
今回発表予想(B)	15,181	132	872	628	26.47
増減額(B-A)	3,181	82	252	28	
増減率(%)	26.5	164.0	40.6	4.6	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	13,795	△28	1,145	360	16.67

修正の理由

1．連結業績予想

当社グループの主な事業分野であるエレクトロニクス産業は、厳しい事業環境でありましたが、中国を中心としたアジア市場向け薄型テレビなど電子機器の需要が旺盛となり、連結売上高および連結営業利益は前回予想を上回る見込みです。連結経常利益は、為替差益などにより増額見込みとなり、同様に連結当期純利益も増額となり前回予想を上回る見込みです。

2．個別業績予想

当社の主な事業分野であるエレクトロニクス産業は、年末まで厳しい事業環境でありましたが、年明けから国内での電子機器メーカーの稼働率上昇から消耗品の需要拡大及び設備投資が再開されたことにより、売上高は前回予想を上回る見込みです。営業利益は、役員及び従業員の賞与カットや一時帰休などによる固定費抑制策を実施した結果、前回予想を上回る見込みです。経常利益は、子会社配当金および一時帰休による助成金収入などにより増額見込みとなりました。当期純利益は、遊休資産の減損処理などでほぼ前回予想のとおりとなりました。

尚、配当金の変更はございません。

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上